

# NEWS LETTER

特別支援学校就労応援団とやまニュースレター vol.3 令和3年9月発行

## 事例紹介 ケース2 「コロナ禍の中での職場開拓」

今回は、特別支援学校就労応援コーディネーターによる職場開拓についてご紹介します。

今年4月から、「特別支援学校生徒の就業体験受け入れ企業等の開拓」及び「障害者雇用を考えている企業等の開拓」を目的に、県西部の企業等を訪問している。コロナ禍の中で各企業等は、業務の縮小、従業員の配置換え、外部者受け入れの制限等、創意工夫しながら対応しておられる。それ故、「してもらおう仕事がない」「対応できるスタッフがない」等の理由から就業体験を断られたり、訪問を断られたりすることもある。そのような中、訪問した企業の中には、「障害者の社会参加に協力したい」「障害者に働く機会を提供していかなければいけないと考えている」等、前向きに考えておられる企業や、「障害者の就業体験受け入れを通して学ぶことができた」と言ってくれる企業もあり、大変ありがたくうれしく思った。

A社は、昨年、特別支援学校生徒の就業体験を受け入れ、「当初は不安だった」とのことだが、生徒が礼儀正しくしっかりと仕事をする様子を見るうちに、障害者理解が深まり、「次に就業体験を受け入れるための」と新規の仕事を準備してくださり、今年度、別の生徒の就業体験につながった。このことから、障害者の就職、障害者理解は、まずは就業体験からとの思いを強くした。

就業体験につながる職場開拓の意義は大きい。新規に障害者の就業体験を受け入れてくださる企業等は、不安も大きいと思われるが、道具や工具の使用、ライン作業、共同作業など、生徒はできることも多い。各企業等には、就業体験の機会を提供していただき、生徒の能力や実態を見ていただければありがたいと思っている。今後もコロナ禍の中ではあるができるだけ多くの企業等を訪問し、特別支援学校生徒の就業体験や就職につながるよう職場開拓をしていきたい。

(特別支援学校就労応援コーディネーター 関口利浩)



## 耳より情報 「障害者の雇用に向けた個別支援」

県では、企業の障害者雇用担当者に対し、民間コンサルティング会社の障害者雇用支援コーディネーターを派遣し、障害者の採用準備から職場定着まで一貫した個別支援（例、障害者雇用制度の説明）を行っています。対象は、県内に本社を置く障害者雇用率未達成の企業です。

詳しくは、県商工労働部労働政策課雇用推進班にお問い合わせください。(TEL076-444-8897)

## 特別支援学校就労応援団とやま登録企業数

74社（令和3年9月20日現在）

富山県教育委員会

県立学校課 特別支援教育班 発行

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL 076-444-3451

FAX 076-444-4437

登録企業については、インターネットで「就労応援団とやま」で検索し、サイトでご確認ください。

「自分たちに何ができるだろう…」とお悩みの企業様。まずは、特別支援学校にお気軽に声をおかけください。そして、特別支援学校の生徒の姿や学習の様子をご覧ください。企業様と生徒との出会いが大切です。